

日本国防衛大臣とオーストラリア連邦副首相兼国防大臣との間の
オーストラリア汎用フリゲート事業
に関する協力覚書
（「もがみメモランダム」）

1. 小泉進次郎日本国防衛大臣とリチャード・マールズ・オーストラリア連邦副首相兼国防大臣は、2026年4月18日、オーストラリア・メルボルンにおいて会合した。両大臣は、オーストラリア汎用フリゲートの3番艦までの建造契約の締結を、この重要な事業における意義深い節目として、心から歓迎した。

2. 両大臣は、「もがみ」型護衛艦の能力向上型の能力に関する協力が、両国のパートナーシップの深さを反映していることを確認した。このモメンタムを維持し、引き続き両国が官民一体となって緊密に協力しながら、オーストラリア海軍汎用フリゲート3番艦までの納入に関して協働していく決意を改めて確認した。また、両大臣はオーストラリア国内での維持整備基盤や建造能力の構築に向けた日本の支援を改めて確認した。

3. また、両大臣は、本年が日豪友好協力基本条約署名50周年にあたることを踏まえ、この歴史的な成果を基礎として、インド太平洋地域の平和と安定を支えるために必要な相互運用性の向上に資する優先的な能力分野において、産業協力の一層深化させることを含め、日豪間の防衛パートナーシップを更に強化していく意図を改めて確認した。

本覚書は、2026年4月18日にメルボルンにおいて、日本語及び英語による正本2通に署名され、いずれの文書も同等の価値を有する。

日本国防衛大臣

小泉 進次郎

オーストラリア連邦副首相兼
国防大臣

リチャード・マールズ